
ココロのスキマ

白発中

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ココロのスキマ

【Nコード】

N41550

【作者名】

白発中

【あらすじ】

そこに友人関係で苦しんでいる男がいた。

その男は自らの我慢でやり過ごそうとしていた。

やり過ごすなどという決心の我慢など簡単に崩れてしまうのも知らずに。

曾谷 正志のスキマ1（前書き）

初投稿どころか初めて小説を描きました。

初めてなことばかりなので探り探りやるかもしれませんがご了承下さい・・・

感想を少しでも書いていただけると嬉しいです！

曾谷 正志のスキマ1

・・・嫌いだっ！

いつもいつも俺にまとわりついてくるあの糞やろうが、大っ嫌いだ！！

振り払っても俺の周りをついてきやがる！その上あいつは俺のことを『親友』、だなんて抜かしやがる！虫唾が走る！

そんな気持ちがいっぱいになると俺はトイレに駆け込み、壁に文句をぶちまける。今も学校のトイレでその最中だ。

他の人が見たら変に思うかも知れないが、これが俺が唯一あの野郎と付き合っている唯一の方法でだ。

・・・まあどこかでケリをつけないと俺の精神衛生上悪いと思う。だけど高校の間だけ我慢すればあいつとの付き合いは無くなるだろう。俺が少しの間辛抱するだけでいいならそれに越したことは無い。

そんなことを思いつつ落ち着いたのでいきつけの一番奥の個室から出る。

「・・・はあ。またあいつのことを置いて帰ったら、親友の俺を置いて行くなんて薄情なやつめ！とか言うんだろうなあ・・・」

「はあ」
ため息ですら二回出させるなんてどんだけコバエなんだよあいつ・・・なんて思いながらトイレを出ようとする。

「そんなコバエ、あなたの人生から消してしまえばいいじゃない」
「・・・っ!？」

不意に後ろから女性の声が聞こえてきて頭が真っ白になり、驚き振り返った。そこにはスラッと背の伸びた見たことの無い女性が立っていた。

——一番奥の個室から出てきたのになんで後ろにいる、いやそもそもこの女性はなんだ。なぜ男子トイレにいるんだ……。俺の独り言を聞かれたのか・・・？

現状を把握しようと頭をフル回転させる。ただ唯一はつきりとしたものがあつた。それは

——俺は今あいつのあだ名、コバエと一言でも言ったか・・・？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4155o/>

ココロのスキマ

2010年10月20日20時07分発行